

野中農林水産大臣政務官が CLT 建築や祖谷のかずら橋を視察

平成 30 年 9 月 19 日
徳島森林管理署

野中農林水産大臣政務官が、CLT 建築や地域興しの現場視察のため、9 月 18 日から 19 日の 2 日間、高知市と三好市を視察しました。

9 月 18 日の視察では、まず、高知市の CLT 建築である高知県自治会館を視察しました。高知県自治会館は平成 28 年 9 月に高知城公園の向かいに建設された 1～3 階が鉄筋コンクリート、4～6 階が CLT を使った木造軸組工法の木造の建物です。県担当者の建設の経緯、工法等の説明の後、CLT を壁や間仕切り等に使った会議室等の内部を視察しました。

その後、徳島県三好市に移動し、徳島森林管理署と三好市、香川大学農学部との 3 者が連携して、地域の「木の文化」の象徴である祖谷のかずら橋などの架け替え資材であるシラクチカズラの資源管理(安定的な供給)に取り組んでいる現場を視察し、徳島森林管理署長がこれまでの取組経緯や、3 者がそれぞれ相互に協力し将来にわたって安定的にシラクチカズラを供給していく仕組みなどについて説明しました。



CLT 建築（高知県自治会館）の視察



野中農林水産大臣政務官に説明する署長

また、この取組では、単に架け替え資材であるシラクチカズラの安定的な供給のみならず、その実を活用していくことで、将来、地域振興にも資する取り組みであることや、そのために農業分野や観光分野とも連携して取り組んでいる点などを説明しました。

徳島森林管理署では、今後とも多様な分野と連携しつつ、「木の文化」の継承のための取組や、地域振興に積極的に取り組んでいきます。



三好市からかずら橋の説明を聞く野中政務官